

目 次

目次欄（青字）をクリックすると、該当ページに移動します。

出席委員	1
秘書政策室の予算審査	3
総務課及び選挙管理委員会事務局の予算審査.....	15
都市整備課の予算審査	18
産業振興課及び農業委員会事務局の予算審査	24
総括質疑及び現地調査箇所の選定	32

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS 第1水準漢字」を使用しています。

このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場合があります。

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

令和3年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第2号）

令和3年3月5日（金曜日）

出席委員（16名）

委員 長	伊 勢 英 昭 君	
副 委 員 長	西 澤 文 久 君	
委 員	今 野 隆 之 君	渡 邊 博 恵 君
	鈴 木 晴 子 君	伊 藤 司 君
	坂 本 義 也 君	安 田 知 己 君
	木 村 範 雄 君	土 村 秀 俊 君
	高 久 時 男 君	及 川 智 善 君
	永 野 涉 君	遠 藤 紀 子 君
	渡 辺 幹 雄 君	鈴 木 忠 美 君

欠席委員（1名）

羽 川 喜 富 君

説明のため出席した者

副 町 長 櫻 井 やえ子 君

財 務 課 長 後 藤 仁 君

秘書政策室

室 長 鎌 田 功 紀 君

秘 書 広 報 班 長 村 田 晃 君

秘 書 広 報 班 主 幹 小野寺 厚 人 君

政 策 班 長 福 島 俊 君

政 策 班 主 幹 佐 藤 瑞 穂 君

政 策 班 主 任 主 査 櫻 井 貴 徳 君

総務課・選挙管理委員会事務局

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

課長兼選挙管理委員会事務局長	鈴木 則 昭 君
総務法令班長 兼選挙管理委員会事務局次長	千 田 耕 也 君
総務法令班技術主幹	岩 田 和 子 君
総務法令班主査	熊 谷 康 宏 君
人事給与班長	藤 岡 章 夫 君
人事給与班主査	菅 澤 誠 也 君
都市整備課	
課 長	鈴 木 喜 宏 君
都市整備班長	戸 枝 潤 也 君
都市整備班主幹	加 藤 智 大 君
都市整備班技術主幹	星 昭 一 君
都市整備班主任主査	内 田 健 一 君
施設管理班班長	渡 辺 淳 一 君
施設管理班主幹	後 藤 俊 寿 君
産業振興課・農業委員会	
課 長 兼農業委員会事務局長	嶋 正 美 君
農林水産班長	川 口 優 君
農林水産班主幹	櫻 井 新 也 君
農林水産班主幹	及 川 直 利 君
商工観光班長	門 田 唯 志 君
商工観光班主任主査	赤 間 崇 光 君

議会事務局職員出席者

事 務 局 長	庄 司 英 夫 君
主 幹	大 枝 大 将 君
主 任 主 査	姉 崎 裕 子 君
主 事	赤 間 浩 大 君

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

午前9時25分 開 議

○委員長（伊勢英昭君） おはようございます。

これより予算審査特別委員会を再開します。

審査日程表により進めてまいりますので、円滑な議事運営に御協力お願いいたします。

ただいまの出席委員は16名です。7番羽川喜富君から欠席届が提出されております。

審査に入る前に申し上げます。質疑は1人2問から3問程度とし、それ以上の質疑がある場合には、質疑が一巡した後をお願いします。

また、質疑の際は、分かりやすく簡潔にお願いいたします。

さらに、質疑が重複しないよう、できるだけ関連質疑で対応するようにお願いいたします。

それでは、審査日程表により、**秘書政策室の予算審査**を始めます。

所管事項の内容を説明願います。秘書政策室長。

○秘書政策室長（鎌田功紀君） 改めましておはようございます。

それでは、秘書政策室に係る令和3年度の当初予算につきまして御説明させていただきます。

令和3年4月から組織の改編を予定しております。業務によっては担当する部署が変更となるものがございますが、現在の所掌事務に沿って御説明いたしますので御了解をお願いいたします。

各種会計予算説明書の①によりまして歳入から御説明いたします。

初めに7ページをお開きください。

15款1項1目総務費負担金2節総合情報システム負担金につきましては、水道事業会計及び下水道事業会計から総合情報システムの利用負担金として、職員数の案分により1,050万円を計上しております。

次に8ページをお開きください。

16款1項1目総務使用料3節まち・ひと・しごと創造ステーション使用料につきましては、地方創生事業の一環として進めております創造ステーションtsumikiの施設使用料として、昨年同額の154万8,000円を計上しております。

11ページをお開きください。

17款2項1目総務費国庫補助金2節社会保障税番号制度システム整備費補助金につきましては、マイナンバーの情報連携に必要となる自治体中間サーバープラットフォームサービス

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

の共同利用に係る地方公共団体情報システム機構への負担金といたしまして、106万4,000円を計上しております。

3節地方創生推進交付金につきましては、1,094万1,000円を計上しております。先ほど御説明いたしましたtsumikiの運営に係る国からの交付金を見込んだものでございます。

次に13ページをお開きください。

18款1項1目総務費県負担金1節移住支援事業負担金につきましては、75万円を計上しております。これは東京圏からの移住者が県内企業への就職など一定基準を満たした方に対しまして、町が補助金を交付する際の県からの負担金でございます。

次に15ページをお開きください。

18款2項1目総務費県補助金1節市町村振興総合補助金のうち、最後の行、浜田・須賀地区復興創生プラン推進事業費補助につきましては、54万5,000円を計上しております。

18ページをお開きください。

18款3項1目総務費委託金3節県政だより配布委託金につきましては、76万9,000円を計上しております。これは2か月に1回発行される県政だよりの配布に係る委託金でありまして、県が定める手数料単価の増により、前年度より若干増額となっております。

6節統計調査費委託金につきましては、114万7,000円を計上しております。これは令和3年度に実施する経済センサス活動調査をはじめとした各種統計調査に伴う県からの委託金でございます。昨年は国勢調査が行われたことから、令和3年度は大幅な減額となっております。

19ページを御覧ください。

19款1項3目1節土地開発基金運用収入につきましては、129万1,000円を計上しております。これは基金財産として管理しております2か所の土地の貸付け収入で、1つは利府駅前の用地の一部を株式会社まちづくり利府に、もう一つは都市計画道路大町線の用地の一部を役場職員駐車場会などに貸し付けているものでございます。

次に22ページをお開きください。

23款3項1目総務費貸付金元利収入1節総務費貸付金元金収入につきましては、3,137万6,000円を計上しております。これは地域総合整備資金貸付金、いわゆるふるさと融資と言われるもので、これまでに貸し付けている5件のうち据置き期間が経過いたしました4件分の償還金でございます。参考までに貸付け額につきましては、仙塩利府病院に4億3,000万円、

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

高齢者福祉施設壱ノ町に5,000万円、りふの内科クリニックに1億5,000万円、障害者支援施設さわおとの森に2,000万円、株式会社三和食品に2億4,900万円をそれぞれ貸付けいたしております。減額の主な理由でございますが、仙塩病院様から新型コロナウイルス感染症の流行によりまして、外来診療の落ち込みなどで病院経営に大きな影響を受けているといたしまして、償還猶予の申出がありました。これを受けまして、令和3年中の償還につきまして猶予認定したことにより、減額となっております。

次に23ページを御覧ください。

同じく5項3目雑入のうち7節コミュニティ事業助成金でございますが、これにつきましては浜田・須賀地区復興創生プラン推進事業に対する助成金として200万円を計上しております。

同じく8節雑入の中の4行目、ハロウィンジャンボ宝くじ市町村交付金670万円でございますが、この交付金につきましては小中学校の入学支援事業として実施しております体操着等の支給事業に充当することとしております。

同じく雑入の中の5行目、広告事業収入141万7,000円のうち秘書政策室分として96万円を計上しております。内容といたしましては、ホームページにおけるバナー広告料として10者分で48万円、広報りふの広告料といたしまして年間48枠で48万円をそれぞれ計上しているものでございます。

続きまして、歳出について御説明いたします。28ページをお開きください。

2款1項総務管理費2目秘書広報費につきましては、前年度と比較し2,781万1,000円増の1億663万8,000円を計上しております。増額の主な理由といたしましては、会計年度任用職員及び一般職員の増員によります人件費の増、広報りふの紙面デザイン等をリニューアルすることによる印刷製本費の増による増額となっております。なお、昨年度新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりましたNHKラジオ体操につきましては、6月6日の日曜日に利府町中央公園野球場で実施する予定としてございます。これに伴う役務費として、ピアノ移送料を計上しております。

33ページをお開きください。

2款1項総務管理費6目情報政策費につきましては、前年度と比較し266万2,000円減の2億2,746万2,000円を計上しております。減額の主な内容といたしましては、13節使用料及び賃借料のうち前年度に計上していた総合情報システムのネットワーク系及び外部系の再リー

スが終了したことによる減額でございます。

次に46ページをお開きください。

5項統計調査費1目統計調査総務費につきましては、前年度と比較し1,017万円減の122万8,000円を計上しております。減額の主な内容といたしましては、令和2年に実施されました国勢調査の調査員及び指導員への報酬等による減額でございます。

次に6項企画費1目企画総務費につきましては、前年度と比較し5,058万9,000円減の4,036万8,000円を計上しております。減額の主な内容につきましては、4月からの組織改編に伴いまして、まち・ひと・しごと創造ステーションtsumikiに関する各種業務委託料と、移住支援事業補助金が7款1項商工費の中の3目地域振興費に移動したことによるものでございます。

続きまして47ページを御覧ください。

同じく2目行政改革推進費につきましては、前年度と同額の7万円を計上しております。

次に飛びまして、78ページをお開きください。

7款1項商工費2目観光費のうち秘書政策室で計上した予算でございますが、浜田・須賀地区復興創生プランに基づく推進事業関係の予算といたしまして、報償費及び委託料等をそれぞれ計上いたしております。

最後に79ページから80ページにかけてでございますが、同じく3目地域振興費のうち秘書政策室で計上した予算でございますが、tsumikiの運営管理に関する各種業務委託に関する予算及び浜田・須賀地区復興創生プランに基づく移住支援等に関する予算につきまして、それぞれ計上いたしております。

以上が秘書政策室に係る当初予算の概要でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（伊勢英昭君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。12番高久委員。

○高久時男委員 では、2点お願いします。

19ページ、19款1項3目の土地開発基金運用収入ということで、先ほど説明があったのは駅前のりふレ、あと1か所ちょっと記憶に残ってないんですけども、駐車場ね、このりふレなんですけれども、このコロナの影響下で経営されてる方は結構大変なんですけれども、かといって、そこだけ何か支援するというのもなかなか難しいと思います。公平性に欠けるからね、ほかだってあるから。だけど、あそこは一応町の政策的に駅前のにぎわい創出というものを政

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

策的に組んで、要するにまちづくり利府という株式会社をつくって、その一番の株主は町ですよ。見てると、結構テナントの出入りが激しいんですよ。やっぱりある程度まちづくりと協議して、家賃を下げるとか、何かしていくべきじゃないかなと思うんですよ。なかなか利府の駅前で商売やるの結構大変なんですよ。だから、できる限り、町の政策面もあるわけだから、その辺はしっかりと何か、ある程度まちづくりから土地収入を得ているわけなので、ある程度この辺をちょっと緩和するとか、何かそういった形で支援はできないかなと思っております。その辺は後々考えてもらえばいいんですけれども。

あと、23ページ、この7節のコミュニティ事業助成金で、浜田・須賀地区復興創生プランというのがあるんですけれども、大体具体的にどんなものを想定しているのか。その辺の説明をお願いいたします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局答弁願います。2点について、まず1点目。福島班長。

○秘書政策室政策班長（福島 俊君） お答えいたします。

1点目の土地開発基金の件でございますが、まちづくり利府のほうで管理しているりふレ横丁での支援ということとします。昨年度コロナ禍でなかなか営業ができなかったというようなことを聞いておまして、まちづくり利府さんのほうでも大分いろいろ考えて対応していたようなんですが、一部賃借料というのをまちづくり利府さんのほうでお店のほうからは取れない、取れなかったということで、一部の減免申請というのが出てきておりました。そもそもこの駅前のにぎわい創出という役割を持っているので、そもそも減免はしてるんですが、さらに一步踏み込んだ減免を決定しておるところでございます。あとコロナ禍はまだ続いているんですけれども、さらに相談がありましたら対応していきたいと考えております。

それから、2点目のコミュニティ助成の件でございますが、まずこのハマスカというような表記が出てくるかと思うんですけれども、浜田・須賀地区復興創生プランにつきましてちょっと説明させていただきますと、この復興創生プランというものなんですが、復興ハード事業が完了しまして、震災から10年の節目を迎えたということで、観光シティセールスの可能性を持った浜田・須賀地区が今後さらなる活性化を図って、持続可能で豊かな生活のために何に取り組んでいったらいいのかということで、国の復興事業の一つということで100%国費で促進するにはどうすればいいかということで、このプラン策定を行ってきました。令和元年7月から行ってきておまして、会議としましては元年度9回、2年度11回、その他2回ということで22回、もう1回あと予定されているんですけれども、地域住民の方とあと事

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

業者の方、そして我々行政と話し合いを重ねて、復興創生プランを策定することとしております。大体できたんですけれども。

このプランでは、住民、事業者、行政、それぞれの役割を提示して、国の100%事業ですので、つくって終わりということになりがちなんですけれども、そういうことではなくて、さらにこの計画の実効性を確保するために、直近3年間のスタートアッププログラムというところまで策定しておるところでございます。

そのうちの一つのコミュニティ助成ということで、これに関しましては体験イベント運営支援ということで、元年度、2年度と実施しましたハマスカ体験フェア、こどもフェアを想定しております。議員の皆様の中でも参加していただいた議員さんいらっしゃいますけれども、浜田・須賀地区のまち歩きとか、体験漁とか、地元交流づくりというようなどころを行っていきたいと思っておるところで、この助成につきましては100%財源保障を想定しております。

以上でございます。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問。高久委員。

○高久時男委員 りふレのことに関しては善処してもらいたいなと思っております。やっぱりあくまでも町の政策的なあそこの店舗だと思うんですよ。私ね、サラリーマンのときは駅使って行きますけれども、1回も行ったことないです。結局、駅の横にあったって、通勤の人たちはすぐバスに乗るとか車に乗って行っちゃうんですね。だから、駅前だからってメリットあるわけじゃないですよ、あそこ。だから、最初、議員になってから行くようになりましたけれども。どちらかという、ここでこれって結構大変だなというのが最初から認識あったので、とにかくそこである程度町の政策にのってある程度商売をしようという意欲を持って来た人たちですから、何とかあまり普通に見ても結構閉店とかテナント替わったとか、テナント募集中とか、結構多いんですよ。ということは、やっぱりそれなりの負担があるということで、商売的になかなか成り立つ場所じゃないですから、それを政策的に町が絡んでやっていることなので、なるべく支援できるんだったら支援してもらいたいなと思っております。

あとハマスカですか、体験イベントということなんですけれども、ちょっと話それるかもしれないんですけれども、前ヨット教室とかやってましたよね。ああいったものとかのほうが結構活性化、浜田に関してはなるんじゃないかと思うので、いろいろプランはあると思うんですけれども、やっぱりあの地区、どんどん人口減少激しいので、何とかあの地区を盛り上げる

ようなものをしっかり考え出してやってもらいたいなと思っております。

以上です。答弁は要りません。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑。15番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 1点だけお願いいたします。

29ページですね、2目の秘書広報費の中で広報りふのリニューアルというお話であったと思いますが、10節需用費の印刷製本費、確かに令和2年の予算よりも80万円ほど増えております。

このリニューアル、どのようになさるのかをまず御説明をお願いいたします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁。村田班長。

○秘書政策室秘書広報班長（村田 晃君） お答えいたします。

令和3年度から広報紙のリニューアルを予定しております、大きく変わるところはデザイン等全体的に変わるんですけれども、表紙のデザインなり、それから中身として特集記事、インタビュー取材を含めた町民の方、頑張っている方、しゃる方にスポットを当てた特集記事というものも毎掲載せるということで予定しております、広報紙の中身について今までも工夫は凝らしているつもりではあるんですけれども、より皆さんに興味を持ってもらえる内容に変えていきたいということで、新たな取組ということで考えてございます。今申し上げました表紙のリニューアルだったり、あと特集記事の編集、取材といったところも含めて、業者さんのほうに印刷製本費の中になりますけれども、委託するというので大きなリニューアルを予定してございます。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問、遠藤委員。

○遠藤紀子委員 私たちも議会だよりを編集している者としても、同じような表紙のデザインですとか、町民の声を聞く努力というのが同じような歩みになりますので、非常に私どもとしても切磋琢磨できるのかなと思って非常にうれしく思いますが、この中の18節の中で全国広報コンクールというのが入ってございました。これはどのようなコンクールなのか、私どもも毎回全国のコンクールに出しておりますものですから、特に今回の広報りふも表紙がとってもすてきだったんですね、白地で。私たちの編集委員会の中でも話題になりまして、今後飛躍的にすばらしい広報紙になるのではないかと思いますけれども、このコンクールについてちょっとお話をお願いいたします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁。村田班長。

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

○秘書政策室秘書広報班長（村田 晃君） お答えいたします。

こちらのコンクールの内容でございますが、日本広報協会というところで例年実施しているものでして、昭和39年から毎年実施している歴史のあるコンクールでございます。利府町といたしましては初めてエントリーするということになるんですけども、今回新たに予算を取らせていただいてエントリーするわけですけども、この流れといたしましては、エントリーした市町村から広報紙1月号から12月号までの中の1冊を、一番自信のある1冊を選んで、それを宮城県の広報課のほうに提出いたしまして、利府町だけではなくてほかの市町村もエントリーしているところがあるんですけども、例年10前後ぐらいあるということなんですけど、その中から県のほうで2つの市町村を、優秀なところということで選抜しまして、その2つの市町村が全国の広報協会さんのコンクールの審査を受けるという流れになってございます。まず県の中の2つに選ばれるかどうかという一つハードルがあるんですけども、まず初めての取組ではあるんですけども、我々として、客観的な評価というか、利府の広報紙ってどうなんだろうということで、その県の選抜2つに生き残れるのかどうかというのも含めまして、どういうふうに皆さんに見ていただいているのか、そういったことも評価をいただいて、より皆さんに親しまれる広報紙にしたいということで今回エントリーするものでございます。

○委員長（伊勢英昭君） 再々質問、遠藤委員。

○遠藤紀子委員 コンクールに応募なさるということで非常にうれしく思いますし、私どもの議会だよりも、どうリニューアルするかと今悩んでいる最中でございます。ぜひ情報交換もさせていただきたいと思っておりますし、最後に特に印刷業者さんと職員の方だけでということで、特に専門家の方どなたかというようなことは考えていらっしゃるのでしょうか。デザイン等々ですね。デザインの専門の先生とか、そういったものは考えずに、あくまでも職員と印刷業者さんという形で、議会だよりがそうなんですけれども、そのような形になるのでしょうか。最後にお伺いします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁。村田班長。

○秘書政策室秘書広報班長（村田 晃君） お答えいたします。

議員さんおっしゃるとおり、印刷業者と町のほうということで専門家の方に参加いただくということにはございません。印刷業者さんのほうもいろいろなほかの自治体の広報紙等を手がけておりますので、我々ではちょっと気づかないようないろいろなアイデア、知識という

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

のも豊富に持っているようでございますので、我々もそれを勉強、吸収して今後につなげていきたいと考えております。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑。3番鈴木委員。

○鈴木晴子委員 それでは3点お願いいたします。

29ページお願いします。2款1項2目秘書広報費の13節使用料及び賃借料なんですけれども、情報発信用スマートフォン賃借料10万6,000円計上されておりました。令和3年度に当たりまして、新しく何か発信するために計上されたものなのか、ちょっと説明をお願いしたいと思えます。

それから、47ページお願いします。2款6項1目企画総務費12節の委託料で143万円、総合計画アンケート調査ということで計上されております。内容をお伺いいたします。

最後、60ページお願いいたします。7款1項3目地域振興費の委託料、まち・ひと・しごと、tsumikiのほうなんですけれども、令和3年度より商工観光課の担当になるようになっております。こちら商工観光課になることによりまして、どのような効果を見込んでいるものなのかお伺いいたします。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁。3点について、まず1点目。村田班長。

○秘書政策室秘書広報班長（村田 晃君） 1点目のスマートフォンの賃借料ということで、予算取らせていただいております。こちらの内容なんですけれども、今現在も御存じのとおり、町のSNSでの情報発信に力を入れておりまして、フェイスブックを現在運用中、それからツイッターについても今年の10月29日から公式の町のツイッターということで運用を開始してございます。それから、来年度4月からはインスタグラムのほうの運用もしていきたいということで、今準備を進めているところでございます。

こちらの賃借料なんですけれども、スマートフォン2台分の1年分の賃借料になるんですけれども、今までこういったSNSで情報発信する際の写真だったり画像だったりというのは、我々秘書広報班で持っているカメラを使ったりですとか、あとは場合によっては個人のスマートフォンで撮影してというようなことで対応はしていたところなんです、特に休日の日のイベント等リアルタイムでそういった情報発信する際に、やはり個人の携帯でということではなくて、ちゃんと公用のスマートフォンでどこの課であっても安心して使えるようにということで、秘書政策室分1台と、それからほかの担当課さん、イベントの担当課さんへの

貸出し用1台ということで2台貸借するものでございます。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 2点目、櫻井主任主査。

○秘書政策室政策班主任主査（櫻井貴徳君） お答えいたします。

今回の総合計画で指標として掲げました、主に満足度につきまして毎年評価をしていくために行うアンケート調査ということでの業務委託となっております。また、中身につきましては、無作為抽出で2,000件程度、30項目の質問を想定しております。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 3点目、福島班長。

○秘書政策室政策班長（福島 俊君） お答えいたします。

まち・ひと・しごと創造ステーションの担当が商工観光課になることに伴いましての変化ということでございます。このtsumikiの大きな目標といたしましては、市民活動のサポート、それから起業創業支援、そして駅前活性化、さらには若者の愛町心、愛着といったものをつくってもらってシビックプライドを醸成していきたいという大きな4点ございますが、そのうち起業創業とか市民活動サポートといった面が目立っているような状況でございます。それで、今年度につきましても商工観光班と連携いたしまして、オープンイノベーションセミナーを実施しております。また、さらには他市の富谷市さんの施設との連携企画なども予定しておったんですが、なかなかコロナでちょっとできなかったということもございまして、今度商工観光課担当ということになりまして、町内産業との連携とか近隣自治体との連携、それからシティセールス係もその中にはあるということで、その面についても強化が図られるものと考えております。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問、鈴木委員。

○鈴木晴子委員 それでは、1点目のスマートフォンのほうなんですけれども、インスタグラムを4月から新しくということでした。インスタグラムで発信する内容のほうを確認したいと思います。

それから、秘書政策課が1台、イベント用1台ということでしたが、今までも結局のところ職員の方のスマートフォンをお借りしながらというお話がありました。今後やはりそのような発信というものは多くなっていくものというふうに捉えております。金額的に1台年間5万円

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

なのであれば、この辺もう少しあったほうがいいのではないかとこのように私は考えるんですけども、その辺どんなふうにお考えなのかお伺いいたします。

それから、2点目のアンケートのほうでございますけれども、満足度を無作為抽出で2,000件ということでございました。この総合計画、やはり今後10年間の大事な計画ということで、今後10年後に子供たちは10歳の子でも二十歳になるというふうな部分では、ぜひ子供たちにもこの総合計画のことを分かってもらいたいなど、町の進む方向はこのようなものなのだと、15歳の子でしたら25歳ということで大分この10年間の成長が大きい子たちに対して、ぜひ町はこのような姿勢ですよというふうな部分を発信していただきたいというふうに思っているんですけども、何か学校を通して簡単な概要版でも、アンケートというか、何か上手な形でPRとアンケートとしていただけないものなのか、お伺いいたします。

それから3点目のtsumikiのほうですけれども、本当にまた新しく商工観光課が対応になるということで、手探りの部分もあるかと思っておりますけれども、やはり利府町の産業のほうの振興にもぜひ寄与していただきたいというふうに思っております、今まであまりなかった企業とのつながりという部分も考えていただけないものなのか、創業支援というふうな部分で、新しい人たちに対する支援はあったんですけども、既存の企業の皆さんとのつながりというものも今後目線に入れているんでしょうけれども、その辺ちょっとお伺いしたいと思います。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁願います。村田班長。

○秘書政策室秘書広報班長（村田 晃君） お答えいたします。

1点目のスマートフォンの賃借料に関連しまして、4月以降に予定しているインスタグラムの中でこういった内容を想定しているのかということでございますけれども、メインはやはり写真、利府にいっぱいきれいな風景なりありますので、お花見のシーズンとかも含めまして、そういった写真をまず積極的に発信していきたいなところです。それから、もちろんイベントとかの楽しそうな写真とか、そういったものも積極的に発信していければなと考えてございます。

それから、もう一つ、スマートフォンの台数2台で今予算のほう計上させていただいているんですけども、まずはこの2台で運用してみまして、積極的にももちろん今よりも発信の頻度を増やしていきたいとは当然考えているんですけども、まずはそれでやってみまして、

必要に応じてもっと増やしたほうがいいと、ほかの課からも、1つの課だけじゃなくて2つ3つ重なって使いたいことがあるとかということで、そういった状況があればもう少し台数を増やすということも考えていかなければいけないとは思いますが、まずは2台で少しやっていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 2点目、福島班長。

○秘書政策室政策班長（福島 俊君） それでは2点目についてお答えいたします。

総合計画の若い方への周知というか発信といったところかと思えます。それで、総合計画皆様にお渡しする冊子になっているものとは別に、全世帯に配布する概要版、さらに今回それに加えまして子供版というのを5,000部ほど作っておりまして、それを学校で使えないかということで今教育委員会とお話をしているところでございます。概要版の概要版みたいな形で、迷いながら作ったところもあるんですけども、役立てていただけるものではないのかなというふうに考えております。

それから3点目でございますが、tsumikiと既存の企業様との関係を強化していったらどうかというようなお話かと思えますが、今年度実施したオープンイノベーションセミナーにつきましては、産業振興協議会の方も参加していただいております、会長さんも参加していただいております。毎月、このtsumikiと打合せをするんですけども、今年度に関しましては既に商工観光の担当とも同席していただいております、見据えたわけではないですけども、連携してやっていこうというような体制は少しずつできておりましたので、来年度も期待できるものなのかなと思います。あわせて、「つみきのキモチ」という冊子があるんですけども、これでもその状況を取り上げておりますので、御覧になっていただければと思います。

以上でございます。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 質疑がありませんので、以上で秘書政策室の予算審査を終わります。

当局は退席願います。

ここで暫時休憩します。再開は10時20分とします。

午前10時09分 休憩

午前10時19分 再開

○委員長（伊勢英昭君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

審査日程表により、総務課及び選挙管理委員会事務局の予算審査を始めます。

所管事項の内容を説明願います。総務課長。

○総務課長兼選挙管理委員会事務局長（鈴木則昭君） 令和3年度利府町一般会計予算における総務課及び選挙管理委員会事務局の予算内容について御説明申し上げます。

初めに、歳入予算の主な内容について説明をいたします。

利府町各種会計予算説明書①の18ページをお開き願います。

18款3項1目総務費委託金5節選挙費委託金につきましては、在外選挙人の名簿調製費や本年10月で任期満了を迎える衆議院議員、11月に任期満了を迎える宮城県知事の選挙執行経費として交付される選挙委託金をそれぞれ計上し、合計2,806万4,000円を見込んでおります。

次に23ページをお開き願います。

23款5項3目雑入8節の雑入のうち、宮城県市町村振興協会研修助成金58万8,000円、宮城県町村会研修助成金50万円につきましては、職員が参加した研修の費用についてその一部がそれぞれから助成されるものであります。

次の会計年度任用職員と雇用保険料40万7,000円につきましては、会計年度任用職員等の雇用保険における個人負担分を町で一度受入れをし、公費負担分と合わせて一括で支払うものであります。

続きまして、歳出予算の主な内容につきまして説明をいたします。26ページをお開き願います。

2款1項1目一般管理費に計上している主な内容といたしましては、法令業務や文書発送経費、職員の研修や福利厚生関係の人事管理業務に要する経費となっております。前年度と比較して428万円減の2億1,941万5,000円を計上しております。減額の主な理由は、1節の報酬で令和2年度から運用開始となりました会計年度任用職員につきまして、総務課にまとめて計上してはりましたが、令和3年度は各課に振り分けて計上したことから大きく減額となったものであります。

1節の報酬973万6,000円の内訳につきましては、記載しておりますとおり産業医のほか各委員及び会計年度任用職員となります。会計年度任用職員7名分の内訳につきましては、障

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

害者雇用としての2名と各課の業務繁忙における事務補助や育児休業取得者の代替分として5名となっております。

2節給料8,380万6,000円ではありますが、前年度と比較すると1,076万1,000円の増となっております。主に配属先が決まっていない新規採用職員などの人数が増えたことから増額となったものであります。

27ページを御覧ください。

10節需用費につきましては、前年度と比較すると216万3,000円の減となっております。令和2年度の当初予算では、全職員の夏用作業服更新やポロシャツを購入するための消耗品費を計上しておりましたが、令和3年度は新規採用職員分のみとしたため、276万8,000円の減となったものであります。

11節役務費につきましては、前年度から48万5,000円増の813万7,000円で、町からの各種文書発送費用としての郵便料や、町が主催する事業等での事故などがあった場合に支給される総合賠償補償等保険料を計上しております。

12節委託料につきましては、職員健康診断業務や職員研修のほか記載の業務委託料を計上しており、前年度とほぼ同様の内容となっております。

続いて28ページの18節負担金につきましても、説明欄に記載のとおり職員研修関係の負担金が主なもので、前年度と同額を計上しております。

続きまして35ページをお開きください。

2款1項7目自治振興費につきましては、行政組織の改正に伴い令和3年度からは生活環境課の所管となります。また、それに合わせて目の名称を、これまでの諸費と町民活動支援費を統合いたしまして自治振興費としております。自治振興費に計上している主な内容といたしましては、行政区長に対する謝礼や町内会への補助金と交付金、男女共同参画の推進に要する経費となっており、前年度と比較して3,951万2,000円の増となっておりますが、主な増額理由は新たに職員人件費を計上したことによるものであります。

なお、このうち男女共同参画の推進に要する経費につきましては、生活安全課の所管であることから、それ以外の分について御説明をいたします。7節報償費、8節旅費及び10節需用費につきましては、説明欄に記載のとおり各行政区長への謝礼と行政区長の視察研修に随行する職員の旅費、行政区掲示板の修繕費等を前年度とほぼ同額で計上しております。

12節委託料につきましては、各行政区に対する町からの配付物の委託料など、前年度と同

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

様の業務委託料を計上しております。

最後に、36ページの18節負担金補助及び交付金の集会所建設事業補助金につきましては、赤沼集会所としらかし台集会所を予定しております。

続きまして、42ページをお開きください。

2款4項1目選挙管理委員会費でございますが、予算額は492万3,000円で、前年度と比較し468万円の減となっております。主な内容といたしましては、前年度と同様に選挙管理委員会の運営経費や選挙人名簿、在外選挙人名簿の掲示登録などに要する経費となっております。なお、減額の主な理由は、職員人件費によるものであります。

次に43ページを御覧ください。

2目衆議院議員選挙費についてでございますが、予算額は1,540万7,000円を計上しております。予算の主な内容は、本年10月で任期満了を迎える衆議院議員選挙に係る投開票事務の執行経費で、投票管理者、立会人及び選挙管理委員会委員の報酬、事務従事者の手当、選挙チラシなどの印刷費、入場券などの郵便料、ポスター掲示場設置工事費など選挙に要する経費をそれぞれ計上しております。

次に44ページをお開き願います。

3目宮城県知事選挙についてでございますが、予算額は1,265万6,000円を計上しております。予算の主な内容につきましては、本年11月に任期満了を迎える宮城県知事の選挙執行経費を2目の衆議院議員選挙費と同様にそれぞれ計上しております。

45ページを御覧ください。

4目利府町長選挙費についてでございますが、予算額は1,354万円を計上しております。予算の主な内容は、令和4年3月1日に任期満了を迎えることから、記載のとおりそれぞれ選挙執行経費を計上しております。なお、18節の負担金203万6,000円につきましては、令和2年12月定例会において可決をいただきました利府町議会議員及び利府町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例に基づき、選挙運動用の自動車経費やポスターとチラシの作成経費につきまして公費負担とするものであります。

以上が総務課及び選挙管理委員会に関わる令和3年度の予算概要であります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（伊勢英昭君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。質疑の発言を許します。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 質疑がありませんので、以上で総務課及び選挙管理委員会事務局の予算審査を終わります。

当局は退席願います。

ここで暫時休憩します。再開は10時40分とします。

午前10時31分 休憩

午前10時36分 再開

○委員長（伊勢英昭君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

審査日程表により、都市整備課の予算審査を始めます。

所管事項の内容を説明願います。都市整備課長。

○都市整備課長（鈴木喜宏君） 皆様、お疲れさまでございます。それでは、都市整備課所管の令和3年度利府町一般会計予算の内容につきまして、利府町各種会計予算説明書①に基づきまして御説明申し上げます。

初めに、歳入について御説明いたします。

9ページをお開き願います。

16款1項4目1節道路橋梁使用料につきましては、道路法に基づく電力柱、それから電話柱の占用料で、前年度と比較して10%増の660万円を見込んでおります。増額の主な理由につきましては、開発等に伴う電力柱の増加によるものであります。

同じく2節自動車駐車場使用料につきましては、利府駅町営駐車場の使用料で、前年度と比較して24.9%減の2,100万円を見込んでおります。減額の主な理由につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、不要不急の外出を控えていることや、勤務形態の変化によりJRの利用者が減少している影響で、町営駐車場の利用が減少している状況から、令和2年度の利用実績も踏まえ計上したことによるものであります。

同じく7節住宅使用料につきましては、災害公営住宅を含めた町営住宅150戸と定住促進住宅80戸の家賃及び駐車場使用料で、前年度と比較して5.5%減の5,140万9,000円を見込んでおります。減額の主な理由につきましては、町営住宅入居者の収入超過者の退去によるものであります。

9節行政財産使用料1,164万5,000円につきましては、公衆用道路や緑地等の目的外で貸付

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

けする際の使用料を計上しております。なお、緑地等使用料534万5,000円のうち都市整備課所管分は120万円を見込んでおります。

12ページをお開き願います。

17款2項4目土木費国庫補助金1節社会資本整備総合交付金8,692万2,000円につきましては、道路整備や住宅耐震改修などの社会資本の整備に対する国からの交付金を計上しており、前年度と比較し大幅な減となっております。減額の主な理由につきましては、新太子堂地区都市再生整備計画事業費交付金で整備を行ってございました文化複合施設整備事業や、狹隘道路整備等促進事業交付金で整備を行っていた道路改良工事などが、令和2年度で完了することによるものでございます。

17ページをお開き願います。

18款2項6目3節ブロック塀等除却工事助成事業費補助金18万5,000円につきましては、スクールゾーン内の危険ブロック除却を促進するため、上乘せ分としての補助金であり、令和3年度から新たに計上するものであります。

次に、歳出について御説明いたします。

お配りしております令和3年度当初予算関係補足説明資料の53ページから土木関係の概要及び位置図等を明記しておりますので、説明と併せて御参照願います。なお、令和2年度まで計上してございました2款6項4目復興推進費及び6款3項3目漁港整備費につきましては、令和2年度で復興関連事業及び浜田地区防潮堤復旧工事が完了したことから廃目となっております。

初めに、予算説明書の63ページをお開き願います。

3款2項9目児童遊園管理費につきましては、町内9か所の児童遊園の管理に係る経費で、前年度と比較し120万6,000円増の276万5,000円を計上しております。増額の主なものは14節の工事請負費であります。内容といたしましては、遊具点検において危険と判断された遊具の維持修繕工事を実施するものであります。

81ページをお開き願います。

8款1項1目土木総務費2,881万2,000円につきましては、主に施設管理に係る職員4名分の人件費でございます。なお、令和2年度まで18節負担金補助及び交付金に計上してございました農道台帳管理特別賦課金7万円につきましては、4月の組織改編に伴いまして75ページの6款1項4目農地維持費の18節に組替えをしております。

82ページをお開き願います。

8款2項1目道路維持費3億4,803万9,000円につきましては、町道及び生活道路の除草業務や1年を通じた維持修繕工事に要する経費のほか、道路舗装長寿命化計画に基づく町道3路線の舗装補修工事を実施するものであり、前年度と比較し2,942万円、9.2%の増となっております。増額の主な理由につきましては、12節委託料の中で道路橋梁PCB含有調査業務と、利府新神明前排水路測量設計業務を新たに実施することや、14節工事請負費の中で加瀬窪地内生活道路整備工事と川袋橋補修工事を令和3年度で新たに実施することによるものであります。なお、高島線及び内ノ目北1号線につきましては、令和2年度に引き続き舗装補修工事を実施するとともに、令和3年度において新たに内ノ目南2号線について舗装補修工事を実施してまいります。

また、これまで14節工事請負費に計上しておりました農道等の維持修繕工事費につきましては、4月の組織改編に伴いまして、74ページの6款1項4目農地維持費の14節に組替えしております。

83ページを御覧ください。

2目道路新設改良費1億4,601万9,000円につきましては、新設改良事業に要する経費で、前年度と比較して4,346万円、22.9%の減となっております。減額の主な理由につきましては、町道仲町浦線及び稻荷山北窪線道路整備事業が令和2年度で完了したことによるものでございます。令和3年度の主な事業といたしましては、委託料、公有財産購入費及び84ページの補償、補填及び賠償金でございますが、渋滞対策といたしまして令和2年度より実施しております（仮称）新中道線道路整備事業と、新たな事業として館太子堂線整備事業を実施するものでございます。

84ページをお開き願います。

3目自動車等駐車場管理費2,661万円につきましては、利府駅の駐車場及び駐輪場の維持管理に要する経費であり、前年度と比較して971万2,000円、57.5%の増となっております。主な内容といたしましては、12節委託料の自転車等駐車場及び町営駐車場施設管理業務を実施するほか、新たな事業として現在JR東日本より借地しております駐車場用地について、用地測量を行い、土地の取得に向けた準備を進めるものであります。

85ページを御覧ください。

8款4項1目都市計画総務費4,062万6,000円につきましては、都市計画業務に要する経費

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

で、前年度と比較し2,584万9,000円、38.9%の減となっております。減額の主な理由につきましては、12節委託料で令和2年度まで実施しておりました都市マスタープラン等改定業務が完了することによるものでございます。

86ページをお開き願います。

3目公園管理費5,269万7,000円につきましては、館山公園をはじめ町内71か所の公園及び緑地の遊具点検や除草業務など、毎年実施している維持管理に要する経費で、前年度と比較し139万4,000円、2.6%の減となっております。減額の主な理由につきましては、12節委託料の緑地維持管理業務委託料の中で、樹木剪定や伐採業務が減となることによるものであります。

88ページをお開き願います。

8款5項1目住宅管理費3,809万9,000円につきましては、災害公営住宅を含めた町営住宅150戸と定住促進住宅80戸の維持管理に要する経費で、前年度と比較し2,482万4,000円、39.5%の減となっております。減額の主な理由につきましては、12節委託料で定住促進住宅改修設計業務及びゆのき住宅地盤改良設計業務が令和2年度で完了することによるものであります。

以上が都市整備課所管の令和3年度当初予算の概要でございます。御審議のほどよろしく
お願い申し上げます。

○委員長（伊勢英昭君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。12番高久委員。

○高久時男委員 では、1点だけお願いします。

88ページ、8款土木費の住宅管理費ですね、先ほど定住促進の改修の設計業務が終わったというような話がありましたけれども、改修自体はいつ頃を予定されているのか、その辺だけちょっとお願いします。

○委員長（伊勢英昭君） ただいまの質疑に対し、当局、答弁願います。渡辺班長。

○都市整備課施設管理班長（渡辺淳一君） お答えいたします。

先ほどの説明では今年度で終了ということでお答えしましたけれども、実際今月末までが履行期間となっております。ただいま現在最終的な工法選定、あとは事業費の算出などを行っております。こちらのほうの内容を詰めた段階でやっていく予定になっていきますので、今月末の結果が出てから詳細な検討に入りたいと思っております。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問、高久委員。

○高久時男委員 まだ設計とか、ものが終了していないと、今月末までということですか。さっき聞いたのは、大体どのぐらいの時期にその工事を行う予定なのかなということなんですけれども、要は前ちょっと電話でお話ししましたがけれども、今入居制限をかけているような状況ですよ。やっぱりそれは1区画、この階段の列だけやっていくということで、この階段の列は入れないということだったので、要は入居制限かけて住民のほうにもある程度移動とかの負担をかけるわけなので、その辺も含めて大体どのぐらい、できれば早めにとっても段階を追ってやっていくしかないから大変だと思うんですけども、その辺で予定される時期とかそういったもの、まだ決まってないんでしょうけれども、大枠ではこの辺にやりたいなというぐらいのもので結構ですから、その辺だけちょっと教えていただければと思います。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁。鈴木課長。

○都市整備課長（鈴木喜宏君） 高久委員の御質問にお答えいたします。

定住促進住宅につきましては、建築してから経過年数がかかり、もう30年も超えているということで、当然都市整備課としても早く改修をしたいなということで今現在進めております。早く進めたいところではございますけれども、やはり入居しながらの大規模改修ということがありまして、やはりこれから入居者の方への十分な説明をしていかなければならない、あとはどのようにしてその引っ越し作業とかの部分も考えていくか、そういったことをこれからちょっと検討をしていかなければならない。今回の業務委託の中で、最終的には今月末に工事内容が大体固まってくると思いますので、その内容を踏まえて今後入居者への説明とか、そういった期間というのは当然必要になってきますので、それらも踏まえた上で来年度に向けて、令和4年度に向けてちょっと進めたいなということは思っております。

ただ、これが今4年度というお話ししましたがけれども、確実に4年度当初でこれができるのかというと、今はそこは不明でございますので、そこだけ皆さん御理解いただきたいなと思っております。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑ございませんか。15番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 1点お願いいたします。

歳入のほうで9ページですね、4目の土木使用料2節自動車駐車場の件ですけれども、コロ

ナの影響、JRの利用者が減ということで、令和3年度は24.9%減の金額を提示してあります。もちろんコロナの影響等々ありますけれども、収入が減った大きな原因はやはり30分無料の5時間100円でしたかしら、料金設定が変わりました。大分5時間で済んでしまう、仙台へ往復しても済んでしまうということで、100円をお支払いの利用者も多いと思います。そこで、どんどん収入が減っていく状態をただただ見逃してよろしいのか、今御説明で84ページの用地取得にも動いているというお話でした。これも駐車場を広げるということでもよろしいんですね。まずその確認と、その料金設定をどう思われているのかをまずお願いいたします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁願います。渡辺班長。

○都市整備課施設管理班長（渡辺淳一君） お答えいたします。

まず料金設定の件でございますが、今年度、令和2年度につきましては先ほど説明しましたコロナ禍ということで、利用台数はかなり減っております。ただ、令和元年度につきましては言えば、8時間以上の長時間の利用者は減ってはいたものの、短時間、先ほど委員のほうからお話あったとおり、仙台に用事があるて行く際に利用しやすいなどの声をいただいておりますので、このコロナ禍が収束した後、利用者の使い方などを見極めて検討してまいりたいと思います。

それから、2点目の用地取得でございますが、今現在駐車場の約半分の面積をJRのほうから借地しております。その分を購入するというので、今現在の面積を広げるということではございません。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問、遠藤委員。

○遠藤紀子委員 借地の件は分かりました。

料金の件ですけれども、長時間の方が減ったと今、要は通勤者がここへ置けなかった、通勤でここへ置くと非常に高いお金になってしまうので、通勤の方は置かなくなったということも、駐車場が空いている原因の一つだと思います。

さらに、本当にこの一等地にある町営の駐車場、もっと活用する手を考えない手はないと思っています。大型のイオンが今日から開店になりましたけれども、この頃電車から非常にたくさんの方が、朝の電車は従業員の方だと思いますけれども、これからたくさんの方が降りていらっしゃいます。その電車の客が駐車場を使うわけではなく、ここの駐車場に車を置いてイオンのお買い物バスが出ておりますし、渡辺幹雄委員のお話ですと、駅から歩いているお

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

お客様も結構いるというお話でした。ですから、いろいろな混雑を考えますと、町営の駐車場に止めてお買い物に行くというお客様もある程度出るのではないかと思います。やはりいろいろな営業努力というものが、この町営駐車場には必要ではないかと思えます。そういった点で、大型商業施設とも絡めてもう少し何かいいアイデアを出して、減収減収をただただ見逃すのではなく、もう少し営業努力というものをお願いしたいと思えますが、いかがでしょうか。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁。鈴木課長。

○都市整備課長（鈴木喜宏君） 再質問のほうにお答えいたします。

遠藤委員おっしゃるように、今コロナ禍の中であって、特に減収になっているという状況でございます。私どもの考えとしましては、やはりこのコロナ禍が落ち着いた後に運営状況を確認した上で、やはり将来的には運営全体については検討していかなくてはならないだろうなというふうに考えておりますので、もう少しコロナ禍が落ち着いて状況を見据えた上で検討をしていきたいというふうには考えておりますので、御理解いただければと思います。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 質疑がありませんので、以上で都市整備課の予算審査を終わります。

当局は退席願います。

ここで暫時休憩します。再開は11時10分とします。

午前11時03分 休憩

午前11時09分 再開

○委員長（伊勢英昭君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

審査日程表により、**産業振興課及び農業委員会事務局の予算審査**を始めます。

所管事項の内容を説明願います。産業振興課長。

○産業振興課長兼農業委員会事務局長（嶋 正美君） それでは、産業振興課及び農業委員会事務局の令和3年度当初予算について、利府町各種会計予算説明書①により説明いたします。

なお、令和3年度につきましては組織と事務分掌が変更となりますが、現時点での産業振興課の所管事務に沿って御説明いたします。

初めに、歳入の主なものについて御説明いたします。4ページをお開きください。

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

下段の2款4項1目森林環境譲与税につきましては、令和元年度から譲与されている森林環境譲与税について、前年度実績見込みにより460万円を計上しており、前年度に比べ60万円の増となっております。

8ページをお開きください。

16款1項3目農林水産業使用料2節漁港使用料381万1,000円につきましては、浜田漁港に係留しているプレジャーボートなど65隻分の泊地使用料及び占用使用料を計上しております。

15ページをお開きください。

18款2項1目総務費県補助金1節市町村振興総合補助金の説明欄6行目、宮城の松林健全化事業費補助125万円につきましては、松くい虫伐倒駆除事業の補助金を前年度と同額で計上しております。

16ページをお開きください。

下段の4目農林水産業費県補助金867万8,000円につきましては、前年度とほぼ同額を見込んでおります。主な内容につきましては17ページを御覧ください。5節松くい虫防除対策費補助金として、前年度とほぼ同額の448万1,000円を計上しております。また、6節食料産業6次産業化交付金61万1,000円につきましては、6次産業化に取り組んでいくための研修経費など、人材育成事業等に係る補助金を計上しております。

5目商工費県補助金1節消費者行政活性化事業補助金1万4,000円につきましては、前年度と比較し26万2,000円の減となっております。減額の主な理由につきましては、放射能測定事業を令和2年度で終了することにより減となっております。

21ページをお開きください。

21款2項9目森林環境譲与税基金繰入金350万円につきましては、令和元年度から譲与されている森林環境譲与税について、森林環境整備事業に活用するために基金に積立てをしており、後ほど歳出でも御説明いたしますが、森林管理の適正化と効率化を促進するため、林地台帳整備事業を実施することから繰入れを行うものでございます。

22ページをお開きください。

23款3項3目労働費貸付金元利収入4,000万円につきましては、前年度と比較し500万円の減となっております。減額の主な理由につきましては、地域勤労者生活改善預託金を勤労者生活安定資金融資制度預託金と統合したことによるものとなっております。

同じく4目商工費貸付金元利収入8,300万円につきましては、中小企業振興資金及び創業者

支援資金に係る預託金を前年度と同額計上しております。

続きまして、歳出の主なものについて御説明いたします。

なお、令和3年度の所管事業の概要等につきましては、当初予算関係補足説明資料の47ページから52ページに記載しておりますので、御参照いただければと思います。

70ページをお開きください。

下段の5款1項1目労働諸費4,020万1,000円につきましては、前年度と比較し500万円の減となっております。減額の主な理由につきましては、歳入でも御説明いたしました20節の貸付金について、地域勤労者生活改善に関する預託金を勤労者生活安定資金融資制度に関する預託金と統合したことによるものとなっております。

6款1項1目農業委員会費1,310万9,000円につきましては、前年度と比較し437万8,000円の増となっております。増額の主な理由につきましては、農業委員会事務局職員人件費の増によるものとなっております。

72ページをお開きください。

2目農業総務費3,940万6,000円につきましては、主に職員人件費に要する経費で、前年度とほぼ同額となっております。

73ページを御覧ください。

3目農業振興費1,737万7,000円につきましては、前年度と比較し108万1,000円の減となっております。減額の主な理由につきましては、利府梨新植改植支援事業の要望がないことから減となっております。なお、新植改植支援事業につきましては、要望があった際には補正予算により対応していきたいと考えております。

74ページをお開きください。

4目農地維持費3,331万1,000円につきましては、前年度と比較し1,375万8,000円の増となっております。増額の主な理由につきましては、14節工事請負費で沢乙字高島前地内水路改修工事や、組織改編により新たに農道等維持修繕工事に係る経費を計上したことによるものとなっております。

75ページを御覧ください。

6款2項1目林業振興費1,828万4,000円につきましては、前年度と比較し411万3,000円の増となっております。増額の主な理由につきましては、12節委託料で森林環境譲与税を活用し、森林管理の適正化と効率化を促進するため、新たに林地台帳整備業務委託料を計上した

ことによるものです。

76ページをお開きください。

6款3項1目水産業振興費36万2,000円につきましては、前年度と同額となっております。主な内容につきましては、前年度新型コロナ感染拡大に伴い、宮城県を会場とした「第40回全国豊かな海づくり大会」の開催が延期となっておりますが、改めて開催される予定のため、負担金を計上したことによるものです。

2目漁港管理費427万9,000円につきましては、前年度とほぼ同額となっております。主な内容につきましては、浜田及び須賀漁港の維持管理に要する経費と漁港指定管理業務について、現在の指定管理事業者が令和4年3月末をもって指定期間の満了を迎えることから、新たな指定管理者を選定するための選定委員の報酬等を計上しております。

77ページをお開きください。

7款1項1目商工振興費1億2,792万5,000円につきましては、前年度とほぼ同額となっております。主な内容につきましては、職員人件費と消費生活相談員1名の報酬や、中小企業振興資金融資制度信用保証料事業及び中小企業振興資金預託金となっております。

78ページをお開きください。

2目観光費2,223万9,000円につきましては、前年度と比較し979万2,000円の増となっております。増額の主な理由といたしましては、組織改編により前年度まで秘書政策室事業でありました12節委託料のハマスカ体験イベント及び魅力創出イベント運営支援事業委託料や、生活環境課事業の18節負担金補助及び交付金の十符の里フェスティバル事業を新たに計上したことによるものとなっております。

79ページを御覧ください。

3目地域振興費2億9,191万4,000円につきましては、組織改編により新設された予算科目となります。主な内容といたしましては、令和2年度まで商工振興費に計上しておりました企業立地、及び観光費に計上しておりましたふるさと応援寄附金返礼品に係る経費、新たに本町のシティセールスを積極的に推進するため、令和2年度まで秘書政策室事業の移住促進事業まち・ひと・しごと創造ステーションtsumikiに要する経費、財務課事業のふるさと応援寄附事業に要する経費を新たに計上したことによるものとなっております。

以上が産業振興課及び農業委員会事務局の所管の令和3年度当初予算の概要となっております。御審議のほどよろしく申し上げます。

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

○委員長（伊勢英昭君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。12番高久委員。

○高久時男委員 それでは2点お願いします。

73ページ、12節の委託料で有害鳥獣駆除業務委託料ということで、金額は載っていないんですけども、どのようなものを想定しているのか。何か最近イノシシの被害が多いということで結構話を聞くんですけども、その辺どんな形で、イノシシは殺処分できるんですけども、その辺の対策的なことをどういうものを考えているか。令和元年度、大体この委託料は42万4,000円計上したんですけども、今回は大体どのぐらい見込んでいるのかなということです。

それと、79ページ、18節の負担金ということで、J A F 観光連携推進事業と160万円計上されています。これは一体どういうものなのか、その説明をお願いしたいのと、あと以前ヨット教室がありましたよね。ヨット教室支援業務というのがあったんですけども、私、浜田に関しては、あそこは漁港じゃなくてプレジャーボートとかそういったものの係留も多いので、そういった形での地域振興を図っていければ一番いいのかなと思っているんですけども、そんな感じでヨット教室は何でないのかなというのがちょっと疑問だったので、その辺の説明をお願いします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁願います。2件ありました。川口班長。

○産業振興課農林水産班長（川口 優君） 1点目についてお答えいたします。

まず、この業務委託の内容につきましては、イノシシにつきましては特に菅谷地区のほうで被害が出ているんですけども、今年度につきましてはまず実績としまして6頭ほど駆除しております。あと熊につきましては、これまで今年度58回ほど目撃情報が寄せられております。そのような中で業務内容につきましては、熊やイノシシ等の出没に伴う現地調査や農産物被害地での銃器等での駆除ということになっています。このほかにカラスの駆除もありまして、カラスの駆除も農作物の被害があるということで、梨部会のほうから要望をいただきまして、年2回ほど駆除を行っております。

○委員長（伊勢英昭君） もう1点。門田班長。

○産業振興課商工観光班長（門田唯志君） お答えいたします。

J A F の観光連携推進事業の内容についてでございますが、今年はコロナ禍により開催はできなかったんですけども、来年、令和3年度はJ A F と連携をしながら、働く車であったり

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

e スポーツ、あと子供免許証とかJ A Fの魅力的なコンテンツ、あとラジコン体験など楽しいイベントと飲食ブース、これは利府町中心の飲食ブースの設定など、子供から大人まで、見て体験して楽しめるモータースポーツを軸としたイベントを考えております。令和3年度についてはフェスティバルのほうもこちらの商工観光課のほうで実施することとなりますので、同時開催によりまして、より集客力のある町民・産業・観光が一体となったにぎわいのある魅力的なイベントをつくり上げていきたいと考えております。

あとヨット教室に関してでございますが、こちらは79ページの負担金の一番下なんですけれども、体験観光事業という節で12万6,000円ほど計上してございますが、こちらがヨット教室実施分ということで、負担金としてヨットクラブのほうにお支払いする形になりますので、ヨット教室を来年は開催する形で考えております。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問、高久委員。

○高久時男委員 分かりました。

この有害鳥獣駆除委託料となっているもので、今ふと思っちゃったんですけれども、前1回質問したときに、熊の問題で1回質問したことがあるんですけれども、そのときに利府町は条例で鳥類に対する害鳥というのはあるんですけども、害獣はないというのを聞いたんですよ。その後、恐らく条例改正とかしてないので、その辺も含めてちょっと見直してもらったらいいかなのかなと思います。

あとこのJ A F観光連携推進事業、あまり正直賛成はしないんですけども、あまり意味のあるものじゃないと思ってます、はっきり言って。何かモータースポーツ、モータースポーツというんですけども、具体的に何か変わった車を持ってきて展示するとか、その辺のレベルであればそんなに重要な意味合いは持たない、正直言って。町長は最終的にはF 1とかどうのこうのとかという話なんですけれども、そういうことは全然利府では想定できないので、あまりこれに重きを置かないほうがいいんじゃないかなと思っております。

それと、このモータースポーツ、前は令和元年で80万5,000円、モータースポーツ振興どうのこうのというやつで決算してるんですけども、昨年も恐らく予算組みして、実際去年はやってませんよね。この場合の予算執行はどうなるんですか。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁願います。門田班長。

○産業振興課商工観光班長（門田唯志君） お答えします。

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

昨年分のJAFの観光連携推進事業につきましては、コロナ禍ということで協議会ともいろいろ協議したんですけれども、中止という形で補正のほうで減額させていただいております。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 高久委員。

○高久時男委員 100%減額ですか。はい、分かりました。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑ございませんか。関連、5番伊藤委員。

○伊藤 司委員 74ページの補助金、鳥獣被害防止施設購入支援事業、これは具体的にどういったことなんですか。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁。川口班長。

○産業振興課農林水産班長（川口 優君） お答えいたします。

こちらの補助事業につきましては、先ほど高久委員のほうからも御質問ありましたけれども、近年、特に今年度におきましてイノシシの被害が多く寄せられております。農作物の被害もですけれども、特に人身の被害のおそれもありますので、今回地域の要望に基づいて農作物の被害、農地に電気柵を設ける事業費、購入費につきまして、2分の1の補助ということで想定しているものでございます。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑ございませんか。2番渡邊委員。

○渡邊博恵委員 1点質問させていただきます。

75ページ、12節委託料のところ質問させていただきます。補足資料も見てまいりました、松くい虫に関してでございますが、この広い利府町の山を委託された方はどのように調査に、足で入られてとか、何人で入られて松くい虫がどこにあるかというのはどのように見極めていただいて、どれを伐採するとかというのはどのような方法でやられているのか、お願いいたします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁願います。川口班長。

○産業振興課農林水産班長（川口 優君） お答えいたします。

松くい虫等の被害につきましては、まず被害調査の委託をしております。これにつきましては、例えば町内全域ではなく、今松くい虫被害の大きいのが浜田地区が主になりますので、地域をある程度限定しまして、そこで調査を委託して、その成果をもって伐倒駆除業務を発注

しているところでございます。

○委員長（伊勢英昭君） 再質問、渡邊委員。

○渡邊博恵委員 地区を限定してということで、そこで伐倒が決まると例えばそこにいっぱいあるのか、それともそこがはげ山になるのか、そういうのも知りたいんですけども。

あとそれから、地上散布業務ってあるんですけども、地上から散布するというのはどのように、人力で何か背負ってやるのか、大変なことだと思うんですね、そういう散布するの。業者さんのほうからお聞きになってますでしょうか。山に入っているいろいろなことをなさる、伐倒する、それを運び出す、その業務ってすごく大変だと思うんですね。そういうことをちょっと教えていただければと思います。

○委員長（伊勢英昭君） 答弁、川口班長。

○産業振興課農林水産班長（川口 優君） まず最初の御質問だったんですけども、例えば浜田地区とかの松林につきましては、そこまで大きな被害が広がっているわけではなくて、ある程度拡大を防ぐための伐倒駆除だったので、それを伐倒することによってはげ山になるとか、そういったレベルまではならないものでございます。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） 答弁、櫻井主幹。

○産業振興課農林水産班主幹（櫻井新也君） 地上散布の関係なんですけれども、それについては高圧噴霧器を使いまして、道路側から松に向かって噴霧するような形でやらせてもらっております。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑ございませんか。13番及川委員。

○及川智善委員 78ページの12節委託料の3つありますけれども、全部一括で255万1,000円ということなんです、上の春日パーキングの倉庫移設業務委託料ということで計上していますけれども、これをやるようになった原因、例えばふるさと、この地域の出品数を増やすとか、何かそういうきっかけがあったのか。それとも、躯体そのものが地震か何かで影響を受けたのか。そもそも何個倉庫があって、どのような場所に移すのか、その範囲内ちょっと分からないですけども。そういう内容ですね。それで、業者に委託する必要性があったのかどうかも兼ねて伺いたします。

○委員長（伊勢英昭君） 当局、答弁。赤間主任主査。

令和3年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日金曜日分）

○産業振興課商工観光班主任主査（赤間崇光君） 及川委員の御質問にお答えいたします。

まず、この春日パーキングの倉庫の移設、どういったものかということでございますけれども、こちらは毎年8月から11月までパーキングのほうで地場産品を販売しております。そちらの備品関係を倉庫に入れているところでございますが、今回、春日パーキングのほうの駐車場を一部県の道路公社で工事をするということで、今私たちが借りている倉庫が支障になるということで、一時私たちのほうで借地しているものですから、一時的にそちらを別な場所に移動してほしいということで、今回移設の委託料を上げているところでございます。物につきましては、2か所、上りと下りに倉庫2か所ございます。大きさ的にはかなり大きい倉庫になっていまして、通常の4トンのユニック等ではなくて大型のユニックを持ってきて載せて別の場所に移動するということになりますので、業者にそちらを委託するということになっております。

以上です。

○委員長（伊勢英昭君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 質疑がありませんので、産業振興課及び農業委員会事務局の予算審査を終わります。

当局は退出願います。

それでは、最終日に総括して質疑する事項の取りまとめ及び現地調査箇所の選定を行います。質疑あるいは御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊勢英昭君） 総括質疑及び現地調査がないようですので、これで本日の予算審査特別委員会を散会します。

なお、3月8日は午前9時30分から特別委員会を再開しますので、御参集願います。

御苦労さまでした。

午前11時37分 散 会

上記会議の経過は、事務局長庄司英夫が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するため署名する。

令和3年3月5日

委員長